



垂水市立 松ヶ崎小学校

児童数 8人
学級数 3クラス



《テーマ》

人権尊重の精神を基盤として、互いのよさを認め合い、
良好な人間関係を築く実践力の育成

研究に当たって（テーマ設定の理由）	研究の実際
本校は極小規模校で、一定の人間関係の中で毎日を過ごしており、多様な価値観に触れる機会が少なく、多様な価値観があることを理解することが難しい実態がある。人権意識を高めて、互いのよさを認め合うことで、多様な他者と良好な人間関係を築くことのできる実践力を育てていきたいと考えた。	児童の実態調査（年3回） 人権に関する取組の情報発信（通年） 6月20日：児童向け人権教室【講師招聘】 8月1日：職員研修【講師招聘】 12月4～10日：校内人権週間の取組 1月23日：保護者向け人権教育講演会【講師招聘】

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□ 人権教室（全児童：1時間）

下学年、上学年に分かれて行った。活動を通して、様々な価値観や捉え方があることを知り、「わたしも大切、あなたも大切」ということを学ぶことができた。

□ 職員研修（全職員：1時間）

人権尊重の視点に立った学校経営や学校づくりについて、演習を交えて具体的にどのように子どもを指導・支援していくとよいかについて学ぶことができた。

□ 教育講演会（全保護者：1時間）

人権に関連する条約や法律について学んだり、「Iメッセージ、YOUメッセージ」等についてグループ演習を行ったりすることで、自尊心を高める関わり方への理解を深めることができた。

□ 人権集会【人権週間】

「リフレーミング」を通して、8人全員の消極的な態度について、肯定的に捉えることができるようにした。

□ 人権について100文字作文【人権週間】

人権週間に行った人権集会や道徳の授業、読み聞かせ等で考えたことや思ったことを100字で表現し、校内に掲示した。

□ 人権に関する取組の情報発信

取組について、週報や学校だより、学校ホームページ、市広報誌等で随時、家庭や地域に発信した。



【下学年の人権教室】



【人権教育講演会：グループ演習】



【100文字作文の掲示】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 子どもたちは、互いによいところがあることを確認し、自分を大切にできる態度、相手を大切にできる態度を身に付けることができるようになってきた。
- 子どもたちは、他者の態度に寛容になり、多様な価値観を認めることができるようになってきた。
- 職員や保護者は、研修や講演を通して、人権意識を高め、「今日から〇〇していこう」、「これからも人権について学び続けたい」という意欲を高めることができた。
- 多様な他者と関わる機会をつくるのが難しい。近隣校と連携して、より多くの他者と合同で活動する機会を増やしていきたい。